

練磨された操法演技を披露!

山武消防ポンプ操法大会

7月4日、第26回山武消防ポンプ操法大会が蓮沼海浜公園駐車場を会場に開催されました。

大会は、山武郡市の各市町村消防団からポンプ自動車の部に5部、小型ポンプ操法の部に8部が出場し、規律・スピード・正確な消火動作を競い合いました。

当町からも小型ポンプ操法の部に第1分団第1部(立会)が出場し、練磨された操法演技を披露しました。

選手氏名 〈敬称略〉

指揮者	渡邊 奨	1番員	早川 徳治
2番員	早川 敏晴	3番員	川島 康文
補助者	海保 朝雄		



▲第1分団第1部(立会)の操法演技

地域安全ニュース

《楽しい夏休みを!》

夏休み中は、長期間家を空ける機会が多くなるため、空き巣や車上狙い等の注意が必要です。

長期のお出かけの時には、確実な戸締りの他にも、隣近所に一声かけたり、新聞受けに新聞をためない等の工夫をする等、細心の注意をしてください。

楽しい夏休みを過ごすため、外出先での事件事故にも十分注意してください。

《割れたガラス1枚が犯罪を増やす～割れ窓理論～》

「割れ窓理論」とは、たった1枚の割れた窓ガラスを放置することによって建物が荒廃し、やがてその街では秩序が乱れ犯罪が多発し、住民が街から逃げ出して街自体が崩壊してしまうという理論です。

この理論は、ニューヨーク市が実践し、街角での犯罪の一掃を図ったことで知られています。

その方法は、民間ボランティアと協力した徹底した徒歩パトロールによりどんな軽微な犯罪も見逃さない取締りを行い、秩序を取り戻して安全な街を築くというものでした。

成東警察署管内でも、昨年各地区の防犯協会をはじめとするボランティアの方々の積極的なパトロールと、注意を促す看板や防犯灯、防犯カメラなどの設置により、犯罪が大幅に減りました。

たった1枚のガラス窓に対処することで犯罪傾向が大きく変化するわけではありませんが、安全に対する住民の意識が変わり、安全な街へと変化しているのです。

皆さんの周りに落書きやゴミのポイ捨てなど街の秩序を乱すものはないでしょうか? もしあるのならば、ちいさいうちに街の連帯感で修復や撤去を行い、犯罪を寄せ付けない安全な街を維持していきましょう。



横芝中生徒のボランティア活動
(駐車車両の防犯診断)